





◎五・一五民間側第一回公判

五・一五民間側第一回公判は<sup>九月</sup>二十六日午前九時陪審第一號法廷にて開廷、前夜來より徹夜で詰め掛けた傍聽人は夜の明くると共に益々増加し内外の警戒嚴重を極める中を定刻護送自動車の入所に續いてさしもの大法廷も齟詰めの満員となる（詳細記事参照の事）

寫眞は

一、本内檢事の公訴事實陳述